

## (2) 認知症施策の取組み（認知症みまりのわ事業）について



### ○認知症講演会 H30.10.31 開催 来場者 300 人

若年性アルツハイマー型認知症と診断された山田真由美さん（名古屋市在住）を招いて、認知症の症状、診断された時の気持ち、家族や周囲の変化、現在の気持ち等話していただきました。



空間認知機能障害で服を着るのに時間がかかる様子の実演

#### （参加者からの感想）

- 当事者の話が聞いて良かった。当事者の悩みごとが少しでも理解が出来たと思います。
- 当事者の人から直接体験談を聞くことができ、通常の講演会とは又違って新鮮味がありました。
- 今まで受けた講演で 1 番印象的で楽しく、分かりやすい時間でした。どんな状態であっても「私は私なのだ。」の言葉が心に残っています。
- ユーモアのある方で、認知症なのにポジティブに堂々と生きている姿に感動しました。私が出来た事を探して行きたいと思いました。
- なかなか家族が認知症になった事を地域の人に伝えることが出来ませんでした。今日のお話を聞いて、こちらから発信していく事が大事である事に気づきました。笑顔がとても良かったです。
- 今までの認知症のイメージとは違い、いろんな症状があることがわかった。
- 山田さんの話を聞いて将来に対して安心感が持てた。

## ○出張おれんじドア ～本人ミーティング～

おれんじドアとは、当事者同士が悩みやこれからのことを相談できる場です。講演会終了後、当事者の山田さんと中津川市の当事者の方 5 人との交流会を行いました。また、介護者家族は家族同士で集まり、介護者ならではの悩み、困りごとを共有しました。

**参加者：介護者家族 14 人、当事者 5 人**



### 【当事者の方の声】

- ・人と話すことが大切。
- ・わからなかったら聞けばいい。
- ・毎日わからいながら過ごす。
- ・時間がわからなくなった。合っているのかわからない。
- ・近くでも場所がわからなくなった。

### 【介護者家族の声】

- ・地域の班長が回ってくるが、できるのか不安がある。
- ・地域から理解してもらえないと感じることも多い。
- ・漠然とした今後に対する不安。
- ・すぐにどこかに行ってしまうたり、ちょっとしたことで怒ったりして家族は疲れる。
- ・経済的に不安定になる。

### 【初めておれんじドアをやってみての感想】

当事者同士の話し合う場の提供は初めてで、皆さんどんな雰囲気になるのか不安でしたが、普段あまり話さない人がよく話していたのが印象的でした。来たときは表情が暗く、すぐに帰りたと言っていた方でも、当事者同士の交流会が終わる頃には非常に明るい表情になり、「楽しかった。」と笑顔で帰って行かれました。

今後も当事者の方の意見を伺いながら、おれんじドアを開催していきたいと思います。

### ○認知症理解のための寸劇

地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談員で構成された「オレンジ委員会」のメンバーで認知症の方への接し方理解の啓発のためにシナリオから作成し、寸劇を健康福祉まつりで披露しました。

今後は「認知症サポーター養成講座」の中でも披露できるように取り組んでいきます。



#### 【演目】

- ① ごはん食べていない！（記憶障害）
- ② 財布を盗まれた！（もの忘れ妄想）
- ③ 家に帰る！（一人歩き）

## ○認知症カフェ ～認知症の当事者、そのご家族の支援、地域の理解～

【委託地域包括支援センターで開催】

◎7月、9月開催 シクラメン地域包括支援センター



- ・阿木高校の認知症サポーターが歌を歌をうたったり、お正月に使う熊手作りなどのレクリエーションをしてもらいました。
- ・86歳華道家の男性にテーブルの上に飾る花を演出してもらいました。  
認知症を患いデイサービスに通う毎日ですが、地域で活動の場ができました。本人は「花を活けることができ気分がよかった。」と感想がありました。

◎8月開催 ゆうらく苑地域包括支援センター



- ・過去の懐かしい思い出を語り合ったり、誰かに話したりすることで脳が刺激され、精神状態を安定させる効果が期待できるといわれている回想法で夏祭りをテーマに行いました。
- ・紐引き、風船つり、かき氷、綿菓子、ポン菓子を楽しみ、子どもの頃の話で盛り上がりました。「盆踊りは40年ぶりだったが体が覚えていてびっくりした。」「楽しかった。」と感想もありました。

◎10月開催 北部地域包括支援センター



- ・ 認知症介護者家族の方2名より家族の視点で介護の様子等話をいただきました。  
「毎日の介護は非常に大変だけれど、本人の話や行動を受け止めていくと、本人の症状も変わってくる。」「近所の方にも認知症をオープンにすることで気持ちも楽になった。」という話がありました。
- ・ 認知症の方への接し方の望ましい例、望ましくない例として、簡単な寸劇を披露しました。

◎【あったカフェ】in ちこり村 主催：ちこり村

毎月第4火曜日 14:30～

場所：ちこり村（バーバースダイニング&カフェ）

費用：500円（フリードリンク+デザート付き）

「うたごえカフェ」をサブテーマに、毎回懐かしい歌を歌ったり、歌いながら手話を取り入れたりしながら賑やかな雰囲気で開催しています。



◎【にこにこカフェ】 主催：NPO法人にこにこ

毎月第3水曜日 14時30分～15時30分

場所：イタリアンカフェ「ミラマール」（JAひがしみの下野支店横）

費用：ドリンク代のみ